

第 27 回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会  
原稿作成・提出要領

**【注意】** 要領書は過去の要領書ではなく、最新の本要領書をご参照下さい。

**1. 発表内容及び原稿執筆に当たっての諸注意**

- (1) 講演集用原稿の執筆につきましては、当該研究集会の趣旨をご理解いただき、下記の事項に注意ください。また、書式等詳細につきましては、別添の「**原稿執筆要領**」をご参考下さい。
- (2) 発表題目は発表内容を適切に表現したものとし、工法や技術の特色が反映された題目をお願いします。特定の商標名等を題目に使用することはできません。また、執筆内容が商業的宣伝に偏ることがないようにご配慮下さい。

【商業的宣伝に偏るとみなされる具体的な例】

- ・表題に特定商標名（〇〇工法など）を入れること⇒一般的な技術を表す名称をご使用下さい。
  - ・「国内初」「新規」「初めて」といった表現⇒これらの表現が妥当であるか十分にご検討下さい。
  - ・文章や図にカタログのような商業的表現を用いること。
- (3) 研究・開発された工法や技術の効用をただ単に紹介するだけでなく、実験データや解析データ等を用いた「考察」並びに研究内容の「まとめ」も章立てして併せてご記述下さい。
  - (4) この研究集会は幅広い分野における最新の研究成果を、参加者全員で共有することを目指しています。必ずしも発表内容の予備知識を持っておられない方々も参加されます。原稿書き出し部分で、発表内容の位置付けや内容の特色を平易にご記述下さい。
  - (5) 発表内容は学会等で発表済みのものでもかまいませんが、当該研究集会用に再構成して新たに作成していただくことが必須です。著作権等法に触れる可能性もありますので、図表等についてもできるだけ新たに作成して下さい。またこの際には、二重投稿を疑われることのないよう、**既発表部分**につきましては、引用元を適切に記載いただき、発表学会名あるいは発表誌等を必ず明記して下さい。
  - (6) たとえ同一著者であっても当研究集会に複数の研究発表を行う際には、それぞれ独自に要旨原稿を作成する必要があります。原稿中に酷似した文章（あるいは全く同じ文章）を転用することは控え、引用を適切に行う等により、自己盗用を疑われないように十分にご注意いただけますようお願いいたします。
  - (7) 他の文献等から図表等を参照・利用する場合においても、「引用」と「転載」の違いを正しくご理解のうえで、「引用」と認められる範囲でお願いいたします。他の文献に掲載された図表をコピーペーストして使用することは「転載」に該当します。ただし、原稿作成にあたり、ご自身で著作権者から「転載」の許可をいただき、その証明ができるものについては「転載」も可能です。
  - (8) 投稿者あるいは筆頭著者のみならず共著者も発表内容に責任を負うことになりますので、原稿提出前に共著者による内容の確認並びに提出の承諾を受けていただけますようお願いいたします。
  - (9) 内部報告書や日報等の体裁で執筆したかのような原稿の投稿は固くお断りいたします。必ず、当該原稿執筆要領に則した書式に書き改めて原稿をご作成いただけますようお願いいたします。
  - (10) 当該研究集会では発表原稿の内容に関する査読は行いません。誤字・脱字・英文誤訳等は著者責任となります。ただし、**研究倫理に反する可能性のある個所及び書式等において当該原稿執筆要領に則していない個所**が見られた場合は修正をお願いすることがあります。修正依頼があった場合は、ご対応いただけますようお願いいたします。修正後においても原稿執筆要領の規定から大きく逸脱したままの発表原稿は、不採用となり一般参加に振り替えさせていただきます。

- (11)執筆内容が本研究集会の趣旨にそぐわないと幹事会によって判断された場合は、講演集への掲載及び発表をお断りすることがあります。あらかじめご了承ください。
- (12)研究倫理の詳細については、下記資料を熟読ください。その上で、発表原稿を本原稿作成・提出要領及び原稿執筆要領にしたがって作成し、ご提出下さい。

独立行政法人 科学技術振興機構（2013），研究者のみなさまへ ～研究活動における不正行為の防止について～，<https://www.jst.go.jp/contract/kisoken/h25/others/h25s805others131120.pdf>

## 2. 提出物の種類及び内容

第 27 回研究集会における事前提出物は、PDF 形式で講演集として収録される「講演集用原稿」と「チェックシート」です。

### 2.1 講演集用原稿

- (1) A4 判（白色、縦置き）、Word2007 以降の形式で「**原稿執筆要領**」に従った書式でご作成下さい。
- (2) 原稿執筆要領に従った書式を「**原稿書式の雛形**」に示します。必ず、**雛形ファイルをダウンロード**して、上書きして原稿を作成して下さい。
- (3) 枚数：**2～6 ページ厳守**（容量は 1.5 MB 以内）
- (4) 作成した Word 原稿を PDF 形式に変換して保存するファイル名を、**参加受付番号（A + 数字 5 桁） + 発表者名**として下さい。

【例】 参加受付番号が A00001 で、発表者が地下水花子の場合： A00001 地下水花子.pdf

- (5) 作成した PDF ファイルを研究集会ホームページのリンク先からアップロードして下さい。

### 2.2 チェックシート

- (1) 「**チェックシートの Word ファイル**」をダウンロード（パソコンに保存）して、講演集用原稿を提出する前に、それぞれのチェック項目を確認（チェック欄に入力）して下さい。
- (2) 作成前に、「**第 27 回研究集会原稿 チェックシート**」と記載されていることを確認して下さい。
- (3) 発表題目が原稿の題名と一致していることを確認して下さい。
- (4) 執筆者と執筆者の所属（所属は大学名のみ、企業名のみ簡潔に記載して下さい）をチェックシートに明記して下さい。執筆者数は 6 名以内とし、口頭発表者の前に○を付け、所属は可能な限り短い名称として下さい（株式会社、（株）、一般社団法人、（一社）等を削除して下さい）。海外の企業についても同様に Inc.、有限公司等は削除をお願いします。

また、このチェックシートでは執筆者の所属機関の記載は各 1 機関のみとして下さい。原稿については、複数の機関を記載いただいてもかまいません。

#### 【記載例】

地盤太郎・○地下水花子（土壌環境センター）・水環境次郎（水環境大学）・廃棄物一郎（□□エンジニア）・地圏岩男（産総研\*\*）

備考：\*エンジニアリングでもかまいません。\*\*産業技術総合研究所でもかまいません。

- (5) チェックシートに記載した**題目及び執筆者氏名（所属）**がプログラムに記載されます。原稿及びチェックシート提出後の「題目」及び執筆者氏名等の変更はできませんのでご注意下さい。
- (6) 確認が終了したチェックシートを保存するファイル名を、**参加受付番号の数字部分 5 桁 + 発表者名**として下さい。

【例】 参加受付番号が A00001 で、発表者が地下水花子の場合： 00001 地下水花子.docx

- (7) 確認済みチェックシートを研究集会ホームページのリンク先からアップロードして下さい。

### 3. 提出について

第 26 回研究集会から提出方法が変更になりましたので、ご注意下さい。

#### 3.1 提出方法

第 27 回研究集会ホームページ (<http://www.gepc.or.jp/kenkyu/27th/index.html>) のリンク先から原稿及びチェックシートをアップロードしてご提出下さい。

#### 3.2 提出部数

- (1) 講演集用原稿：PDF ファイル 1 ファイル
- (2) チェックシート：Word ファイル 1 ファイル

#### 3.3 アップロード及び提出期限

**2022 年 2 月 24 日 (木) 23:45 厳守**

締切日時は厳守願います。システム上、期限後の提出は不可能ですので、ご注意下さい。

提出期限延長等の相談はお断りさせていただきます。

締切日時までに原稿が提出されない場合、発表登録は一般参加に振り替えさせていただきます。

### 4. 提出原稿の著作権について

本研究集会の講演集に掲載された原稿の著作権は、執筆者本人に帰属します。

### 5. 口頭発表原稿について

目 的：壇上での口頭発表時（3 分程度、変更有）にスクリーンに映す原稿（書画カメラを使用）。

形 式：普通紙 A4 サイズ：3 枚程度、フォント 24pt 以上でご作成下さい。

提出期限：当日、発表者がプリントアウトして持参下さい（事前提出不要）。

### 6. ポスターについて

目 的：個別討議用にポスター会場に掲示する。

サイズ：サイズ幅 0.85 m、高さ 1.8 m の掲示スペースに収まるもの（1 枚でも複数枚でも可）。

形 式：発表者の自由（**注意：商品カタログ等の掲示は固くお断りいたします。**）

提出期限：当日、発表者をご持参下さい。

（※事前に会場及び事務局宛て等で送付しないで下さい）

注 1）ポスター内容が本研究集会の趣旨にそぐわないと幹事会で判断した場合は、発表をお断りし、ポスターを撤去いただくことをご了承下さい。

注 2）口頭発表及びポスター発表につきましては、新型コロナウイルス感染症に伴う社会情勢により WEB 開催など発表形態の変更または開催中止の可能性がありますので、あらかじめご了承のほど宜しくお願いいたします。また、発表形態の変更または開催中止になった場合でも、受理された講演原稿につきましては、**講演集への掲載及び発行をもって講演発表は成立したものとさせていただきます。**

**お問合せ・掲載申込先**

一般社団法人 土壌環境センター 研究集会事務局  
担当：木下

[kinoshita@gepc.or.jp](mailto:kinoshita@gepc.or.jp)

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-5 KS ビル 3 階

TEL : 03-5215-5955 FAX : 03-5215-5954